2017 年 12 月 12 日 富士通株式会社

PRIMEQUEST2000/1000 シリーズ上での VMware vSphere 5 におけるサーバ監視の留意事項

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

PRIMEQUEST2000/1000 シリーズに標準添付されているサーバ監視・管理ソフトウェア「ServerView Operations Manager(SVOM)」、「ServerView ESXi CIM Provider」及び「ServerView RAID Manager」につきまして、VMware vSphere 5 を利用する際は以下の留意事項があります。

導入前に必ず本書をお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

【表記】

本書では、VMware vSphere の各コンポーネント名称を以下のように略して表記します。

コンポーネント名称	本文中の表記
VMware vSphere ESX	ESX
VMware vSphere ESXi	ESXi

【重要】

VMware vSphere 5 では、ハイパーバイザーが ESXi のみであり、ServerView で監視できない項目や利用できない機能があります。機能差詳細については、当社担当営業・SE へお問い合わせをお願いいたします。

VMware vSphere 5 では、監視対象サーバ用エージェントソフトウェアに、ServerView Agents 又は PRIMEQUEST Server Agent ではなく、ServerView ESXi CIM Provider 及び ServerView Mission Critical Option for VM(PRIMEQUEST 1000 シリーズのみ)を使用します。また、MMB WEB-UI を使用して、サーバ監視・管理を行うこともできます

MMB WEB-UI を使用したサーバ監視・管理についての詳細は、以下のマニュアルに参考にしてください。

- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 1000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス
- ・ FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000 シリーズ 運用管理ツールリファレンス

【留意事項:各ソフトのインストール】

1. 監視対象サーバ用エージェントソフトについて

ESXi をインストールしたサーバを監視するためには、ServerView ESXi CIM Provider をインストールするか、MMB WEB-UI を使用して、サーバ監視を行ってください。

※ ServerView ESXi CIM Provider は、富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルにあらかじめ含 まれています。なお、富士通ダウンロードサイトでは、これらに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

ServerView Agents、ServerView Agentsless Service、PRIMEQEST Server Agent および、ServerView Operations Manager はインストールできません。

監視対象サーバ(利用環境)とインストールが可能な監視ソフトの種別については以下をご参照ください。

[監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャーソフトのインストール可否]

	監視対象サーバ		ESXi 上の Guest OS	Windows	Linux
ソ	ServerView ESXi CIM Provider	0	×	×	×
フ	ServerView Agents	×	× (*4)	0	0
ト エ	ServerView Agentless Service	×	×	0	0
ワー	ServerView RAID Manager	×	0	0	0
エア	ServerView Mission Critical Option	×	×	O(*1)	O(*2)
, 名	ServerView Mission Critical Option for VM	×	O(*3)	×	×
ī 称	PRIMEQUEST Server Agent	×	×	O(*5)	O(*5)
	ServerView Operations Manager (SVOM)	×	0	0	0

〇:インストール可

×:インストール不可

※ ServerView Operations Manager / ServerView RAID Manager を利用して、ESX/ESXi を含むシステムを監視・管 理する場合は、別途管理用のサーバ(Windows または Linux、仮想マシン上のゲスト OS でも可)が必要で す。

*1: PRIMEQUEST 1400S2Lite/1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 の場合のみ

- *2: PRIMEQUEST 1400S2Lite/1400S2/1400E2/1400L2/1800E2/1800L2 および PRIMEQUEST 2000 シリーズ の場合のみ
- *3: PRIMEQUEST 1000 シリーズにインストールされた VMware vSphere 5 上の Guest OS (Redhat5/Redhat6/Windows Server2008/Windows Server2008/Windows Server2012)の場合のみ

*4: ServerView Agents は V6.00 以降のバージョンでは、Guest OS 上にインストールすることはできません。

*5: PRIMEQUEST 1400S/1400E/1400L/1800E/1800L の場合のみ

【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】

1. ServerView ESXi CIM Provider のインストールについて

ServerView ESXi CIM Provider は、「VMware vSphere CLI」の「esxcli」コマンドを使用してインストールします。 インストール手順の詳細については、「PRIMEQUEST における ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere 5 インストールガイド」をご参照ください。

2. ServerView ESXi CIM Provider の機能について

VMware vSphere ESXi 5 用の ServerView ESXi CIM Provider は、イベント通知機能として、CIM Indication (ServerView Agents の SNMP トラップに相当)を使用します。

これにより、ServerView Operations Manager を使用することで、ServerView ESXi CIM Provider からの CIM Indication を受信でき、アラームアクション(メール送信、ServerView Operations Manager がインストールされたシ ステムへのイベントログ記録など)を実行できます。

なお、ServerView ESXi CIM Provider による SNMP トラップ送信(SNMP は使用しません)/イベントログ(ESXi のシス ログ)記録のアラート機能は未サポートです。

3. VMware vSphere のアップグレードを行う場合

VMware vSphere 4 にインストールされている ServerView Agents、または、PRIMEQUEST Server Agent は、VMware vSphere 5 にアップグレードする前にアンインストールしてください。

また、それ以外のバージョンの VMware vSphere ESXi のアップグレードを行う場合にも、ServerView ESXi CIM Provider をアンインストールし、アップグレード後に再インストールすることを推奨します。

※ 富士通専用のインストールイメージ / オフラインバンドルを用いてアップグレードを行った場合、 ServerView ESXi CIM Provider は自動的にインストールされます。なお、富士通ダウンロードサイトではこれ らに添付されているバージョンより新しい ServerView ESXi CIM Provider が公開されている場合があります。

4. ServerView Operations Manager のサーバ監視について

ServerView Operations Manager を利用して PRIMEQUEST 上の VMware vSphere ESXi 5 サーバ監視を行うには、 別途管理サーバ(Windows/Linux 上で動くサーバ、ゲスト OS でも可)を準備して、ServerView Operations Manager をインストールする必要があります。

ServerView ESXi CIM Provider V6.00.04~V6.21.06 を使用する場合は SVOM V5.50.09~V6.21.08 が必要です。 ServerView ESXi CIM Provider V6.31.10 以降を使用する場合は SVOM V6.31.03 以降が必要です。

なお、VMware vSphere ESXi サーバに対して、複数クライアントから情報収集等のアクセスが同時に行われた際、 正常に応答が返らない場合があるため、1 台の VMware vSphere ESXi サーバを複数の ServerView Operations Manager で監視する運用は推奨しません。

5. ServerView Operations Manager への VMware vSphere 5 サーバの登録方法

ServerView Operations Manager で ServerView ESXi CIM Provider を利用して VMware vSphere 5 サーバの監視を 行うためには、以下の手順でサーバの登録を行う必要があります。

① サーバリストから「管理者設定」メニューー「ユーザ/パスワード」画面を開きます。

S ServerView							
サーバリスト 管理者設定 サーバデータ管理 イベント管理 サーバ監視							
サーバブラウザ サーバの設定 ユーザバスワード 単位設							
<u>Home</u> >> サーバリスト							
	F18	+ 27 不共 12					

 「ユーザ/パスワード」画面において、VMware vSphere ESXi サーバにアクセス可能なユーザ名/パスワード を設定し、ノードタイプを「VMware」に設定します。

ユーザパスワード設定

ユーザ名:*	パスワード:*	バスワード確認:*	ノードタイプ:	コメント:
] admin	•••••	•••••	BMC 🔽	
] root	•••••	•••••	VMware 🗸	
1			すべてのタイプ 🔽	
1			すべてのタイプ 🗸	
]			すべてのタイプ 🔽	
]			すべてのタイプ 🗸	

*必須項目

※ サーバリストへの登録には CIM 相互作用の権限を持ったユーザ名/パスワードが必要になります。該当の 権限を持ったユーザの作成方法は『ServerView Operations Manager』取扱説明書の「読み取り専用ユーザを 使用して、ServerView Operations Manager と ServerView RAID の両方またはいずれか一方で VMware ESXi ホストを監視する」の項を参照願います。 ③ 「サーバブラウザ」画面を開きます。

「IP アドレス」に MMB 仮想 IP を指定し、「検索」ボタンをクリックしてください。

以下のとおり、サーバ名などの情報が表示されますので、登録したい PRIMEQUEST である事を確認した上で、適用ボタンをクリックしてください。

ガーバブラウザ ● win-a	s5vn699rlg8 - Windows Internet Explorer		
S ServerView		ユーザ: Administrator	- <u>ยวัรว่า</u> รบุโกรม
サーバリスト 管理者設計	を サーバデータ管理 イベント管理 サーバ監視 アップデート管理 セキュリティ		ヘルプ
サーバブ	ラウザ サーバの設定 ユーザバスワード 単位設定 基本設定ウィザード		
<u>Home</u> >> サーバブラウザ			
サーバのアドレス ネットワーク	/SNMP 「リモートサービスボード(RSB) 「ローカルノート 】	1014	適用
サーバ名	PRIMEQUEST0020100825	検索	自動
管理者	root@localhost	<u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	BladeFrame
場所	Unknown	קעל	Blade Server
システム名	PRIMEQ UEST0020100825		Citrix
システムタイプ			ETERNUS DX60/80/9
IP7ドレス IPv4 👻	10 . 24 . 112 . 51	文字列へ	ETERNUS 400/8000 ETERNUS DX S2
		IPA	HyperV
サブネット/ドメインリスト	名前 アドレス モデル 説明		

④ サーバリストに新たな PRIMEQUEST の筐体が表示されるので、パーティションのツリーを展開し、VMware vSphere 5 サーバがインストールされているパーティションを選択します。

さらに右クリックを実施し、表示されたメニューから「サーバのプロパティ」を選択します。 (以下の例では、Partition #2 を選択しています)

🖉 ServerList @ win-a5vn699rlg8 - Wi	indows Internet Explorer	
S ServerView		ユーザ: Administrator <u>ログアウト</u> FUjitsu
サーバリスト 管理者設定 サーバデー	2管理 イベント管理 サーバ監視 アップデート管理 セキュリテ	ィ ヘルプ
アーカイブをインポート サーバをインポート	サーバをエクスボート 設定	
<u>Home</u> >> サーバリスト		
□ 💑 すべてのサーバ □ 🛃 PRIMEQ UEST0020100825 — 🏈 PRIMEQ UEST0020100825-00	PRIMEQUEST0020100825 ♥♥0 ♥▲0 ♥♥0 ♥♥0 ♥♥1 ♥♥0	₩ 😧 0 🖳 🔽 0
● PRIMEQUEST0020100825-01 ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-03 ● SIRUS39 ● WIN-A5VN699RLG8 ● WIN-A5VN699RLG8	名前 △ スロット △ ■ ⑦ 厚 ネッドフーク ⑦ PRIMEQUEST00201008 2	モデル システム PRIMEQUEST 1800E2
	K	<u>×</u>
	□ <u>アラームの時報 アラームの時報</u> アラームが選択されていません。	
		🗐 ローカル イントラネット 🛛 🖓 🔸 🍕 100% 🔹 🔬

⑤ 「サーバのプロパティ」画面が表示されますので、「アドレス」に ESXi の IP アドレスを入力し、適用ボタンを実行して下さい。

	n-a5vn699rlg8 - Windows Internet Explorer		
			サーバのプロパティ
	ーク/SNMP ローカルノート ログイン BMC		
サーバオ	PRIMEQUEST0020100825-02		
サーバのデータ (MIB)			9
管理者	:		
場別	i		
システムネ	vmware5esxi.lab.lsd.css.fujitsu.com		
システムのタイン	PRIMEQUEST 1800E2		
7۴レス	: IP V 10 . 24 . 112 . 121		
	接続テスト		
全で非選択	ок	適用 閉じる	リセット ヘルプ
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■			🖓 🗸 🔍 100% 👻 💡

この時、接続テストを実施すると、以下の表示となりますが、ここでは、"TCP/IP: OK"のみ確認して下さい。

RIMEQUE ST0020100825-02 - 10.24.112.121 シー般的な接続: TCP/IP: Ok, Remote Connector: 失敗 シイムアウト シノードタイブ: タイムアウト シテストトラッブ: タイムアウト	
一般的な接続: TCP/IP: 0k, Remote Connector: 失敗 SNMP: タイムアウト ノードタイプ: タイムアウト テストトラップ: タイムアウト	
SNMP: タイムアウト ノードタイプ: タイムアウト テストトラップ: タイムアウト	
ノードタイナ: タイムアウト テストトラッナ: タイムアウト	
テストトラップ: タイムアウト	
ок リトラ-	

ダ ServerView サーバス 管理者設定 サーバデータ管理 イベンド管理 サーバ監視 アップデート管理 セキュリティ アーカイブをインボート サーバタインボート サーバタインボート サーバタインボート リーバタインボート ジェーク Home>>サーバリスト サーバタインボート サーバタインボート サーバタインボート リーバタインボート ジェーク PRIMEQUEST0020100825 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST0020100825-00 PRIMEQUEST002010082 0 PRIMEQUEST002010082 0 PRIMEQUEST002010082 0 PRIMEQUEST002010082 0 PRIMEQUEST00201008 0 PRIMEQUEST0020108 0 PRIMEQUEST00201008 0 <th>ユーザ: Administrator 🖻</th> <th><u>אלדל (דער 1975)</u> אורל –</th>	ユーザ: Administrator 🖻	<u>אלדל (דער 1975)</u> אורל –
サーバデータ管理 イベント管理 サーバ監視 アップデート管理 セキュリティ アーガイブをインボート サーバをインボート サーバをエクスボート 設定 PERMEQUEST0020100825 アドMEQUEST0020100825-02 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST0020100825 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST002010082-03 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST002010082-03 アドMEQUEST0020100825-03 アドMEQUEST002010082-03 アドMEQUEST0020100825 1 アドMEQUEST0020100825 1 アドMEQUEST0020100825 1 アドMEQUEST00201008 1 アドMEQUEST00201008 1 アドMEQUEST00201008 1 アドMEQUEST00201008 1 アドMEQUEST0020108 1 アドMEQUE		ヘルプ
アーカイブをインボート サーバをインボート サーバをエクスボート 設定 Home >> サーバリスト PRIMEQUEST0020100825 PRIMEQUEST0020100825 PRIMEQUEST0020100825-02 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST0020100825-03 PRIMEQUEST002010082 PRIMEQUEST00201008 PRIMEQUEST0020108 PRIMEQUEST0020108 PRIMEQUEST0020108 PRIMEQUEST0020108 PRIMEQUEST020108		
Home >> サーバリスト ● PRIMEQUEST0020100825 ● PRIMEQUEST0020100825-00 ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-03 ● PRIMEQUEST002010082 ● PRIMEQUEST002010082 ● PRIMEQUEST002010082 ● PRIMEQUEST00201008 ● PRIMEQUEST0020108 ● PRIMEQUEST0020108 </th <th></th> <th></th>		
● #*TO:0+ -/: ● PRIMEQUEST0020100825-00 ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-03 ● WIN-A5VN699RLG8 ● WIN-A5VN699RLG8 ● V/> ● V/> ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-03 ● WIN-A5VN699RLG8 ● V/> ● V/> ● WIN-A5VN699RLG8 ● V/> ● PRIMEQUEST00201008.2 ● PRIMEQUEST00201008.2 ● PRIMEQUEST00201008.2 ● PRIMEQUEST00201008.3 ● PRIMEQUEST00201008.3 ● PRIMEQUEST00201008.3		
 ● PRIMEQUEST0020100825-00 ● PRIMEQUEST0020100825-02 ● PRIMEQUEST0020100825-03 ● SIRRUS39 ● WIN-A5VN699RLG8 ● WIN-A5VN699RLG8 ● PRIMEQUEST00201008.2 ● 1 ● PRIMEQUEST00201008.2 ● PRIMEQUEST00201008.2 ● 1024.112.121 ● PRIMEQUEST00201008.3 ● PRIMEQUEST00201008.4 ● PRIMEQUEST00201008.5 ● PRIMEQUEST00201008.5 ● PRIMEQUEST00201008.4 ● PRIMEQUEST00201008.5 ● PRIMEQUEST0020108.5 ● PRIMEQUEST0020108.5<td>Construction of the Construction of the Constr</td><td></td>	Construction of the Constr	
 ● PRIMEQ UEST0020100825-01 ● PRIMEQ UEST0020100825-02 ● PRIMEQ UEST0020100825-03 ● PRIMEQ UEST00201008 ● PRIMEQ UEST00201008 ● PRIMEQ UEST00201008 2 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 3 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 2 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 3 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 3 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 1 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 ■ 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 ■ 1024.112.121 ● PRIMEQ UEST0020108 		
PRIMEQ UEST0020100825-02 PRIMEQ UEST00201008 PRIMEQ UEST0020108 P	モデル シ	システム
PPIMEQ UEST0020100825-03 SIRIUS39 SIRIUS39 Yu→A5VN699RLG8 グリレーブ PPIMEQ UEST00201008_ 2 1024.112.121 PPIMEQ UEST00201008_ 3 PPIMEQ UEST00201008_ 3 PPIMEQ UEST00201008_ 3 PPIMEQ UEST00201008_ 3 PPIMEQ UEST00201008_ 2 1024.112.121 PPIMEQ UEST00201008_ 3 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST00201008_ 2 1024.112.121 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST00201008_ 2 1024.112.121 PPIMEQ UEST00201008_ 1 PPIMEQ UEST0020108_ 1 PPIMEQ UE	PRIMEQUEST 1800E2	Jostonasoon I
日	PRIMEQUEST 1800E2	
▲ WIN-ADVA699RLG8 ③ グループ ● PRIMEQUIESTIDIONIONA_ 3 ● PRIMEQUIESTID	PRIMEQUEST 1800E2 VN	Mware ESXi 5.0.0
▲ クルーク ▲ クルーク ■ アラームの詳細 アラームの情報 アラームが選択されていません。	PRIMEQUEST 1800E2	
アラームの詳細 アラームの情報 アラームが遵訳されていません。		
 アラームの詳細 アラームが遵訳されていません。 		>
アラームが選択されていません。		

サーバリストでサーバ名をクリックすると、シングルシステムビューが開きます。



- ソフトウェアウォッチドッグの使用について
 ソフトウェアウォッチドッグをシステム監視にのみ使用することができます。
 以下の条件を満たす設定が必要です。
 異常時動作:継続稼動
 タイムアウト時間:4分以上
- 7. vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへのインストールについて ServerView Operations Manager V6.10.05 以降の場合、vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager を同一サーバにインストールすることが可能です。

ServerView Operations Manager V7.11 の場合、以下の手順で ServerView Operations Manager V7.11 でネット ワークポートの 8009 番を使用しないようにする必要があります。 既に vCenter Server 5.x がインストールされている場合は、この手順の実施後、vCenter Server のサービスを 再起動してください。

- 1. ServerView Operations Manager の停止
 - Windows の管理ツール「サービス」を起動します Windows Server 2008 R2 の場合: 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「管理ツール」→「サービス」を起動します。 図 1 の「サービス」画面が表示されます。
 - Q. 9-EX (A) MAY GUL 表示公 ~157(H) H-F2 (n-hil) Q 9-82 (0-54) 2.5-17570000 · RPC Endpoint Mapp Secondary Logon Secure Socket Tunneling 1254 手動 手動 サービス保護 PN 504 自約 自約 明 Nache TonEE :00 日約 日約 日約 日約 千約 開始開始 68. art Card Rend Ŧŧ 間は 間に 間に 810 740 840 (2057204) 12.8. MP Trap 0-2 Special Administration Concole 1 Special Administration Concole 1 SPP Notification Service SQL Server (SQLSERVERV2EW) SQL Server Active Directory He SQL Server VSS Witter 앞곗 千約 千約 日約 日約 日約 日約 10% 10% パトレ. SQL (四)1 (四)1 ISOP D sn ystem Event Notification Service 229 101 885 松保 (理事/

図 1 Windows Server 2008 R2「サービス」画面

Windows Server 2012 R2 の場合: 「スタート」メニュー→「管理ツール」→「サービス」を起動します。 図 2 の「サービス」画面が表示されます。

4		9-62			
77-116(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)				
Þ 🗣 📷 🖬 🖗	a 🕞 🖬 💷 🕨 🖬 🖬 🖬				
サービス (ローカル)	・ サービス (ローカル)				
	ServerView ApplicationService	8# *	2018	87.8	スタートアップの相
		C Resultant Set of Policy Provider	12mm		学動
	サービスの構成	Routing and Remote Access	2萬		類如
	サービスの再起動	RPC Endpoint Mapper	152-	実行中	11.83
		C Secondary Logon	810	黨行中	手動
	20時:	G Secure Socket Tunneling Protocol Se	VPN		手動
	Apache TomEE -	Security Accounts Manager	20	寅行中	印動
	http://http://openejb.apache.org/	Q Server	30	實行中	日動
		ServerView Apache Directory Server	Ser	漢行中	目動
		Q ServerView ApplicationService	Apa	漢行中	R10
		ServerView Download Service		寅行中	自動
		ServerView Remote Connector	Pro	寅行中	日動
		C ServerView Services		演行中	E180
		Shell Hardware Detection	日勤	寅行中	日動
		Q Smart Card	20		無助
		C Smart Card Device Enumeration Ser	雨定		手動 (ドリガー製
		Q Smart Card Removal Policy	2		手動
		Q SNMP Service	兒易	寅行中	日動
		Q SNMP Trap	0	寅行中	手動
		G Software Protection	Win		目動 (運送開始
		C Special Administration Console Helper	12月		手動
		Q Spot Verifier	774		手動 (ドリガー製
		K			>
	155 (63/				

図 2 Windows Server 2012 R2「サービス」画面

② 関連サービスを停止します

(ア)「サービス」一覧内の「ServerView Download Service」を右クリックし「停止(0)」を実行します。図3のよう にプログレスバーが表示されるので、サービスの停止が終わるまで待ちます。 注意:環境によってはしばらく時間がかかる場合があります。

<u>ቻ=ピス(ローカル)</u> Q, ザーピス (ローカル)					
9~ሮス コントロール	×		11000	100	29->
ローカルコンピューターの次のサービスを得止しようとしています。			152-	1976	885
ServerView ApplicationService			\$40.	19314	于教
		ne Protocol Ser.	VPN		445
		rister	207-	1974	845
			203.	1924	日約
(man)		rectory Server	Serve_	1250	845
mico(c)		nService	Apac.	1224	845
		Service		1100	日約
Q ServerView Re	ecte (Connector	Provi.	1004	自動
Q ServerView Ser	rvices			1210	自動
G Shell Hardware	Detec	tion	845.	1000	845

- 図 3 サービス停止中のプログレスバー
- (イ)図3が閉じ「サービス」の「ServerView Download Service」の「状態」に何も表示されていないことを確認 します。
- (ウ)同様に、「ServerView Services」、「ServerView ApplicationService」、「ServerView Apache Directory Server」 サービスの順にサービスの停止を行います。
- 2. 設定ファイルの編集

① 以下の設定ファイルをテキストエディタ(Windows 標準のメモ帳等)で開きます

- 32 ビット OS の場合:
- C:¥Program Files¥Fujitsu¥ServerView Suite¥tomee¥conf¥server.xml 64ビットOSの場合:
- C:¥ Program Files (x86) ¥Fujitsu¥ServerView Suite¥tomee¥conf¥server.xml 注意:誤って編集してしまった時の為に、編集前のファイルを名前を変えて保存しておくことをお勧めしま す。
- ② 以下のように server.xml ファイルの内容を変更します

変更前:

<!-- Define an AJP 1.3 Connector on port 8009 -->
<Connector port="8009" protocol="AJP/1.3" redirectPort="8443" />

変更後:(変更箇所を赤太文字で表示)

```
<!-- Define an AJP 1.3 Connector on port 8009 -->
<!--
<Connector port="8009" protocol="AJP/1.3" redirectPort="8443" />
-->
```

③ ファイルを保存します

テキストエディタにてファイルの保存を行います。

3. ServerView Operations Manager の起動(設定ファイル変更の反映)

手順2で変更した設定内容を反映させます。

- ① 手順1の①と同様の手順で Windows の管理ツール「サービス」を起動します
- ② 関連サービスを開始します
- (ア)「サービス」一覧内の「ServerView Apache Directory Server」を右クリックし「開始(S)」を実行します。図 3 と同様にプログレスバーが表示されるので、サービスが開始するまで待ちます。
- (イ)図 3 が閉じ「サービス」の「ServerView Apache Directory Server」の「状態」が「開始」となっている事を確認します。
- (ウ)同様に、「ServerView ApplicationService」、「ServerView Services」、「ServerView Download Service」サービスの順にサービスを開始します。

8. VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードについて

VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードが有効になっている場合、ServerView Operations Manager で監視 を行うことは出来ません。

9. ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について

ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能は未サポートです。 このため以下の動作を実行してもシステムシャットダウンは行われません。

・ServerView Operations Manager 「シャットダウン後電源オフ」 「シャットダウン後リセット」 「ソフトシャットダウン」

10. SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere 5 のサーバ間の通信について

VMware vSphere 5 のサーバ監視を行う場合、従来の SVOM と監視対象間の通信に加えて、以下の通信経路が必要となります。

SVOM クライアント(ブラウザ) <--> VMware vSphere 5 サーバ TCP 5988/5989

上記の通信ではシングルシステムビューでの対象サーバの監視情報の取得などを行ないます。

11. CIM Indication で使用されるポートについて

ServerView Operations Manager 上から ServerView ESXi CIM Provider がインストールされた VMware vSphere ESXi 5 サーバに対して接続テストを行う場合、または CIM Indication を使用してイベント通知が行われる場合、 VMware vSphere ESXi 5 サーバ のファイアーウォール設定に対し、自動的に[dynamicruleset(3170 ポート)] (SVOM V7.20.07 以前の場合)、または[dynamicruleset(3169 ポート)] (SVOM V7.20.08 以降の場合)が設定され ます。

本ポートを閉じてしまうとイベント通知機能は使用できなくなります。

12. 「接続テスト」について

結果は下図のとおりです。

なお、ServerView ESXi CIM Provider は SNMPをサポートしていないため、「SNMP」がタイムアウトと表示されます。 この結果は正常ですので、問題ありません。

ΘI	n-band接続	○ Out-of-band接続	
svor	n208 - 10.21.13	6.208	
0	一般的な接続:	TCP/IP: Ok	
0	SNMP:	タイムアウト	
0	ノードタイプ:	サーバ, 管理可能, ESX Server接続: Ok	
0	テストトラップ:	テストトラップを受信しました	
			J

また、テストトラップがタイムアウトした場合は、以下の項目を確認してください。

? テストトラップ: タイムアウト

・SVOM V6.31 以降を使用しているか確認してください。

- ・CIM Indication は、SVOM がインストールされているサーバの TCP ポート 3170 番宛て(SVOM V7.20.07 以前の場合)、または 3169 番宛て(SVOM V7.20.08 以降の場合)に通知されます。このポートがファイアウォールなどによって遮断されていないか確認してください。
- SVOM をインストールした環境で複数の IP アドレス(NIC)を使用しており、且つ、そのうちのいずれかが VMware vSphere 5 サーバと通信できない IP アドレスの場合、ServerView ESXi CIM Provider からのトラップ(CIM Indication)を受信できない場合があります。

この場合は、VMware vSphere 5 サーバを SVOM のサーバリストに登録する前(既に登録している 場合は削除後)に、一旦 VMware vSphere 5 サーバと通信できない IP アドレスを無効にして、その 状態で VMware vSphere 5 サーバを登録してください。

登録後、接続テストを実行して、テストトラップが受信できることを確認後、無効にした IP アドレスを 有効にしてください。

 1 台の VMware vSphere 5 サーバを、複数の SVOM のサーバリストに登録している場合、そのうちの いずれかから VMware vSphere 5 サーバを削除すると、他の SVOM でトラップ(CIM Indication)を受 信できなくなる場合があります。

この場合は、全ての SVOM のサーバリストから対象の VMware vSphere 5 サーバを削除後、改めて SVOM のサーバリストに登録してください。

13. 富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて

インストールイメージ、またはオフラインバンドルのアップデートを行った場合、ServerView ESXi CIM Provider の版数が変更される場合があります。

14. CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 5 の sfcbd サービスについて

VMware vSphere ESXi 5 サーバの ServerView ESXi CIM Provider を使用した監視は、VMware vSphere ESXi 5 の sfcbd サービス機能を使用しています。

このため sfcbd サービスが正常に動作していないと VMware vSphere ESXi 5 サーバの監視が正常に行えません。監視が正常に行えていない場合、sfcbd サービスが正常に動作しているか確認してください。 また、sfcbd サービスを再起動することにより、正常に監視が行えるようになる場合があります。

sfcbd サービスの再起動方法

・VMware vSphere ESXi 5 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行 # /etc/init.d/sfcbd-watchdog stop # /etc/init.d/sfcbd-watchdog start

sfcbd サービスの確認方法

- ・VMware vSphere ESXi 5 サーバにログオンし、以下のコマンドを実行
 # /etc/init.d/sfcbd-watchdog status
 正常に動作している場合は、コマンドの結果が"sfcbd is running"となります。
- ※ 多数の CIM クライアントを使用しているなど非常に高負荷な場合には sfcdb サービスが正常に動作しなくな る可能性があります。

15. Plugins のリソース変更について

VMware vSphere ESXi 5 で ServerView ESXi CIM provider を使用する場合は、CIM provider の使用するリソ ースが不足し、動作が不安定になることがあるため、plugins のメモリリソースの制限値を以下の通りに変 更してください。

なお、pluginsの変更に伴い、vmvisorのメモリリソースの制限値の変更も必要となります VMware vSphere ESXi をアップデートまたはアップグレードした場合には、再度、設定が必要になる場合が あります。

※上記の制限値の変更は、ESXi が割り当て可能な CIM provider のメモリリソースの上限を引き上げます。 この CIM provider のメモリリソースは、予め ESXi 自身が使用するために確保しているメモリリソースから、 ESXi 自身の動作に支障がない範囲で必要に応じて割り当て使用されます。 そのため、ESXi 自身や仮想マシンの動作に影響はありません。

表:メモリリソース

亦 百 前 の pluging 値 *1		ESXi5.5 Update3b 以降		左記以外の ESXi5 *3		
変更前の piùgins 値 「		260MB	600MB	650MB	210MB	600MB
现中体	plugins	650MB	650MB	亦百万西	600MB	亦百て西
設定値	vmvisor *2	+390MB	+50MB	変更不安	+390MB	发史个安

*1: VMware vSphere ESXi をインストール/アップデート/アップグレードしたあとの値

*2: 現在の設定値に指定の値を加算してください

*3: VMware vSphere ESXi 5.0, 5.1, 5.5 Update3 以前

[変更手順]

- 1) vSphere Client から vCenter または ESXi ホストに接続します。
- 2) インベントリツリーから対象の ESXi ホストを選択します。
- 3) [構成]タブの [ソフトウェア] で [システムリソース割り当て] を選択します。

はじめに、サマリ、仮想マシン、リソース割	り当て パフォーマンス 構成 ローカル
א-דטיד	
▶ 健全性ステータス	センサー
プロセッサ	FUJITSU-SV PRIMERGY
メモリ	
ストレージ	
ネットワーク	
ストレージ アダプタ	
ネットワーク アダプタ	
詳細設定	
電力管理	
ሃንኑሳェア	
ライセンス機能	
時間の構成	
DNS およびルーティング	
認証サービス	
仮想マシン起動/シャットダウン	
仮想マシン スワップファイルの場所	
セキュリティブロファイル	
ホストキャッシュの構成	
システムリソース割り当て	
エージェント仮想マシンの設定	
詳細設定	•

- 4) [システムリソース割り当て]の [詳細] をクリックします。
- 5) [システムリソースプール]で host > vim > vmvisor > plugins を選択し、[設定の編集] をクリックします。



6) [plugins リソース割り当ての編集] で [メモリリソース] の [制限] を「表:メモリリソースで指定された 設定値」に変更します。

🛃 plugins Y	ソース割り当ての編集	×
CPU UV-2	L	
シェア:	ታスタム 💌 1000	÷
予約:	J 0	÷ MHz
制限:	 ✓ 拡張可能な予約 - ↓ 800 	+ MHz
	□ 制限なし	
「メモリリソー」	2	
シェア:	ከスタム 💌 0	3
予約:	0	➡ MB
	▶ 拡張可能な予約	
制限:	600	€ мв
	□ 制限なし	
	OK キャンセル ヘ	ルプ (1)

- 7) [OK] をクリックします。
- 8) [システムリソースプール]で host > vim > vmvisor を選択し、[設定の編集] をクリックします。

ለ፦ドウェア	システムリソース割り当て	シンプル	言羊糸田
健全性ステータス	システム リソース プール		
プロセッサ	⊡ lost		
メモリ	idle		
ストレージ	🗄 🥏 system		
ネットワーク			
ストレージ アダプタ			
ネットワーク アダプタ			
詳細設定	www.isorswap		
電力管理	tmp		
_	user		
ソフトウェア			
ライセンス機能 時間の構成	/ 詳細	設	定の編集

9) [vmvisor リソース割り当ての編集] で [メモリリソース] の [制限] を「現在の設定値 + 表:メモリリソ ースで指定された設定値」に変更します。

🛃 vmvisor リソ	ース割り当ての編集	×
- CPU リソース		
シェア:	ታスタム 💌 1000	÷
予約:	1334	+ MHz
	▶ 拡張可能な予約	
制限:		
	▶ 制限なし	
シェア:	ታスタム 💌 1000	÷
予約:	-] 1346	÷ MB
	▶ 拡張可能な予約	
制阝艮:	1736	🕂 МВ
	□ 制限なし	
	ОК <u></u> *+>セル ^	JUJ (L)

- 10) [OK] をクリックします。
- 11) 左側の [ソフトウェア] で [セキュリティプロファイル] を選択します。



- 12) [サービス]の[更新]をクリックします。
- 13) [サービス] の [プロパティ] をクリックします。
- 14) [サービスプロパティ]で [CIM サーバ] を選択し、[オプション] をクリックします。

ሀモート アクセス			
デフォルトでは、リモートクライアントはこのホストのサービスにアクセスできないように発生され、ローカルクライアントはリモート			
小人に切り ニビスビアクビスしてはいな 人に担当上ですいしいな 9。 (それの 大注 で様式 しかい 短り、 デーエンパナム 新的に開始します			
(なかり)方法で1時かんのない中かり、リーモンな自動がのに自動ののより。			
ラベル	デーモン		
I/O リダイレクタ (ActiveDirectory	停止		
snmpd	停止		
ネットワーク ログイン サーバ (Active	停止		
Ibtd	実行中		
vpxa	実行中		
ESXi シェル	停止		
xorg	停止		
ローカル セキュリティ 認証サーバ (Ac	停止		
NTPデーモン	停止		
vprobed	停止		
SSH	実行中		
ダイレクト コンソール ロ	実行中	1	
CIM サーバ	実行中		
#. K3 @ 3p.1/= /		-	
- 9-EX0070/031			
全般			
#_#7. cm.t	+_18		
パッケージ1音単原: esx-b This V	ase IB contains all	l of the base functionality of vSphere ESXi.	
			75121
			0778J

- 15) [停止] をクリックします。
 - ※ [停止]コマンドが、タイムアウトして失敗する場合があります。 [停止]に失敗した場合は、再度実行をお願いします。 [停止]コマンドがグレーアウトしている場合は、サービスの停止は完了していますので、16) に進んでください。

16) [開始] をクリックします。

17) [OK] をクリックして終了します。

16. トラブル対応について

VMware vSphere 5 上でのハードウェア監視機能は、ServerView ESXi CIM Provider で実現します。 しかしながら、VMware vSphere 5 上では ServerView ESXi CIM Provider が利用可能なリソースに制約があ り、ServerView ESXi CIM Provider で問題が発生した時に十分な情報が得られず、原因究明に至らない場合 があります。回避策として CIM Provider の再インストール等をお願いする場合がございますので、ご了承願 います。

【留意事項:ServerView RAID Manager】

1. ServerView RAID Manager のインストール先について

ServerView RAID Manager を用いて VMware vSphere 5 サーバ上の RAID 監視を行う場合、VMware vSphere 5 サーバ上に以下の条件(注)に該当するゲスト OS を選定し、そのゲスト OS 上に ServerView RAID Manager をインストールして下さい。

注: ServerView RAID Manager をインストールするゲスト OS は 10S のみです。全てのゲスト OS にインストールする必要はありません。

2. ServerView RAID Manager のインストール手順/設定方法について

ServerView RAID Manager をインストールした後は ESXi 5 固有の設定が必要です。 インストール手順と設定方法については、「PRIMEQUEST 向け ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」(別紙)をご参照ください。

3. ServerView RAID Manager から発行される SNMP Trap について

VMware vSphere 5 サーバを監視する場合、ServerView RAID Manager が発行する SNMP Trap は、VMware vSphere 5 サーバを監視する ServerView RAID Manager をインストールしたサーバが Trap の発行元として認識 されますのでご注意ください。

4. VMware vSphere 4 からアップグレードする場合

VMware vSphere 4 から VMware vSphere 5 にアップグレードする場合、ServerView RAID Manager の再インスト ール(*1)が必要です。

VMware vSphere 5 にアップグレードする前に ServerView RAID Manager をアンインストールし、アップグレードした後、VMware vSphere 5 サーバのゲスト OS 上に ServerView RAID Manager をインストールしてください。また、インストールした後は ESXi 5 固有の設定が必要です。

インストール手順と設定方法については、「ServerView RAID Manager VMware vSphere ESXi 5 インストールガイド」 (別紙)をご参照ください。

*1 VMware vSphere 4 ではサービスコンソールに ServerView RAID Manager をインストールしていましたが VMware vSphere 5 にはサービスコンソールが存在しないため、ServerView RAID Manager を 再インストールする必要があります。

【留意事項:ServerView Mission Critical Option for VM】

1. ServerView Mission Critical Option for VM について ServerView Mission Critical Option for VM は PRIMQUEST 1000 シリーズ用です。PRIMEQUEST 2000 シリーズには用意されていません。

2. ServerView Mission Critical Option for VM のインストール先について

ServerView Mission Critical Option for VM を用いて VMware vSphere 5 サーバ上のハード故障を MMB 経由で通 報を行う為、VMware vSphere 5 サーバ上に以下の条件(注)に該当するゲスト OS を選定し、そのゲスト OS 上に ServerView Mission Critical Option for VM をインストールして下さい。

注: ServerView Mission Critical Option for VM をインストールするゲスト OS は 10S のみです。全てのゲスト OS に インストールする必要はありません。

3. ServerView Mission Critical Option for VM のインストール手順/設定方法について ServerView Mission Critical Option for VM をインストールした後は設定が必要です。 以下のマニュアルを参照の上、必要な設定を行ってください。

PRIMEQUEST1000 シリーズ ServerView Mission Critical Option ユーザマニュアル 2章 導入手順

カテゴリ	楼能	CIM Provider	
<i>,,,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	122 HG		FSXi5 向け
SVOM×1	センサーステータス情報の取得	0	0
主な機能	パフォーマンス情報の取得	× × ?	x × ?
	イベント通知機能	×	
	イベントログへ記録	×	×
	アーカイブ インベントリ情報の取得	×	×
	<u></u> ASR&R ウォッチドッグ機能	0.3	0.3
	ASR&R スケジュール運転機能	× × 4	× × 4
	間値監視	×	×
	□ ■ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	×	×
	 ソフトウェア、ファームウェアの管理	×	×
	ジェンニンニン ションニン ひとり (ショー) 接続テスト	0.85	0
シングルシステムビュー	- [3][6][7][7][7][7][7][7][7][7][7][7][7][7][7]	0	0
システムステータス		×	0×6
	雷源	0	0
	ベースボード	0	0
	ネットワーク	0	0
		×	0
シングルシステムビュー	システム情報の取得	0	
システム	エージェント/CIM 情報	0	0
	オペレーティングシステム	0	0
	プロヤス	×	×
	ファイルシステム	×	×
	ディスクパーティション	×	×
	リソース	×	×
シングルシステムビュー	バッテリ情報	×	×
メンテナンス	システムイベントログ	×	×
	サーバのプロパティ	×	×
	ASR&R	O <u>%4</u>	O <u>%4</u>
	起動オプション	×	×
	リモートマネージメント	0	0
	診断情報収集(PrimeCollect)	×	×
	オンライン診断	×	×
	CSS	×	×
シングルシステムビュー	物理マシン情報	0	0
仮想マシン	仮想マシン情報	×	0
スレッシュホルド	閾値監視機能	×	×
マネージャ	パフォーマンス監視	× <u>*</u> 2	× <u>*</u> 2
パフォーマンス	パフォーマンスの取得	×	×
マネージャ	パワーモニタ	×	×
アップデート		×	×
マネージャ			

【SercerVierw ESXi CIM Provider 環境での SVOM の機能の利用可/不可】

〇:可能(ただし、ServerView Agents を使用するシステムと内容がことなる場合があります) ×:不可能

※1) ServerView ESXi CIM Provider V6.00.04~V6.21.06 を使用する場合は SVOM V5.50.09~V6.21.08 をご利用 下さい。

ServerView ESXi CIM Provider V6.31.10 以降を使用する場合は SVOM V6.31.03 以降をご利用下さい。 ※2) CIM 経由の場合、配下のゲスト OS についてもパフォーマンス監視は未サポートとなります。

- ※3) ServerView ESXi CIM Provider V6.00.04 以降において、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ のみをサポートします。なお、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグの設定は、SVOM V6.00.07 よりサポートします。
- ※4) スケジュール運転は ServerView Operations Manager から設定できません。iRMC Web インタフェースの MMB Web-UI で電源投入のスケジュール運転は可能ですが、電源切断のスケジュール運転は未サポートです。
- ※5) 接続テストの項目のうち、SNMP、テストトラップはタイムアウトとなります。
- ※6) SVOM V6.30.05 より外部記憶装置で RAID 情報の表示をサポートします。
- ※7) ServerView ESXi CIM Provider V6.31 以降にはドライバモニタ機能が実装されています。
 - ドライバが検出したエラーを、ドライバモニタ機能が検出可能な場合、イベントログにエラーが記録されます。
 - SVOM 側にはドライバモニタ画面がないため、検出したエラーをイベントログに記録するだけでトラップ は送信しません。

更新履歴

版数	/////////////////////////////////////	日付
初版	新相作成	2012 年 6 日 26 日
2版	「空音車頂·SarvarView FSYi (IM Dravidar)	2012 年 0 月 20 日
2 110	L田志事項.Serverview LSA climit founder J	
오ᄠ	の規定が PPIMFOUFST2000シリーズについての記載を追加	2015
JIIX	Hunder 12000 シア ハビン Cの記載と追加 サーバ E 相手的として Out-Of-Rand E 相があることを記載	
	「監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャーソフトの	
	「温泉川家・「シーン」」 シュントシーズの目生 シーン・ハーント シー・シー・シー	
	「	
	変更	
	~~ - Out-Of-Band 監視項目を追加	
	- ※3を削除、番号振り直し、※9~※11を追加	
4版	「Out-Of-Band 監視」の記載を「リモートマネジメントコントローラを使用した、サ	2015年9月1日
	ーバ監視・管理」に変更の上、内容追加	
5版	【監視方法による機能比較(SVOM)】	2015年9月8日
	- ※8の記事内容を修正	
6版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2016年1月5日
	- 「5.vCenter Server と ServerView Operations Manager の同一サーバへのイン	
	ストールについて」を追加	
	- 「6.カスタムイメージ、オフラインバンドルのアップデートについて」を追加	
7版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2016年1月19日
	- 「5.vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへの	
	インストールについて」のタイトルと内容を変更	
8版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2016年2月16日
	- 「5.vCenter Server V5.x と ServerView Operations Manager の同一サーバへの	
	インストールについて」の内容を変更	
9版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2016年4月26日
	-「7.CIM Provider による監視での VMware vSphere ESXi 5 の sfcbd サービスに	
-	ついて」を追加	
10版	【監視方法による機能比較(SVOM)】	2016年8月9日
	- ※1の内容を修正	
11版	【留意事項:各ソフトのインストール】	2017年1月11日
	- 1.監視対象サーバ用エージェントソフトについて」の記事を修正	

	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	
	以下の項目を新規追加、それに伴い既存の記事の番号を修正	
	- 「4.ServerView Operations Manager のバージョンについて」	
	- 「5.SVOM への VMware vSphere 5 サーバの登録方法」	
	- 「8.VMware vSphere ESXi 5 のロックダウンモードについて」	
	- 「9.ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能に	
	ついて」	
	- 「10 SVOM クライアント(ブラウザ)と VMware vSphere 5 のサーバ間の	
	通信について」	
	- 「11 (IM Indication で使用されるポートについて)	
	- 「15 Pluging のリソース変更について」	
	$_{-}$ [20トラブル対応について」	
	「 に して に して して して して して して して して して して	
	注釈の記事で修正、留方で派り回し	
10 HE	ての他語句の修正	2017年1日11日
「乙丸又		2017年1月11日
	- リモートマネンメントコントローフの記載を MMB WEB-UI に修止	
	【留意事項:谷ソノトのインストール】	
	- リモートマネンメントコントローフの記載を MMB WEB-UI に修止	
	【留意事項: ServerView ESXi CIM Provider】	
	- 「4.ServerView Operations Manager のパージョンについて」を修正	
	- 「9.ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能に	
	ついて」を修正	
	【監視方法による機能比較(SVOM)】を【SercerVierw ESXi CIM Provider 環境での	
	SVOMの機能の利用可/不可】に修正	
	- リモートマネジメントコントローラに関する記述削除	
13版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2017年1月31日
	- 「5.SVOM への VMware vSphere 5 サーバの登録方法」の内容を修正	
	【SercerVierw ESXi CIM Provider 環境での SVOM の機能の利用可/不可】	
	- 注釈 1)の内容を修正	
	その他語句の修正	
14 版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2017年3月13日
	- 「15. Plugins のリソース変更について」の内容を修正	
15 版	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	2017年3月28日
	- 「11.CIM Indication で使用されるポートについて」の内容を修正	
	- 「12.「接続テスト」について」の内容を修正	
	その他語句の修正	
16版	【留意事項:各ソフトのインストール】	2017年12月12日
	- [監視対象サーバ用エージェントソフト及び管理サーバ用マネージャ	
	ーソフトのインストール可否]の内容を修正	
	【留意事項:ServerView ESXi CIM Provider】	
	- 「3.VMware vSphere のアップグレードを行う場合」の内容を追加	
	- 「4.ServerView Operations Manager のサーバ監視について」のタイト	
	レ及び内容を修正	
	- 「5.富士通専用のインストールイメージ、オフラインバンドルのアップ	
	デートについて」のタイトルと内容を修正	
	その他語句の修正	

以上